

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

7

シネラ・ニュース No.196

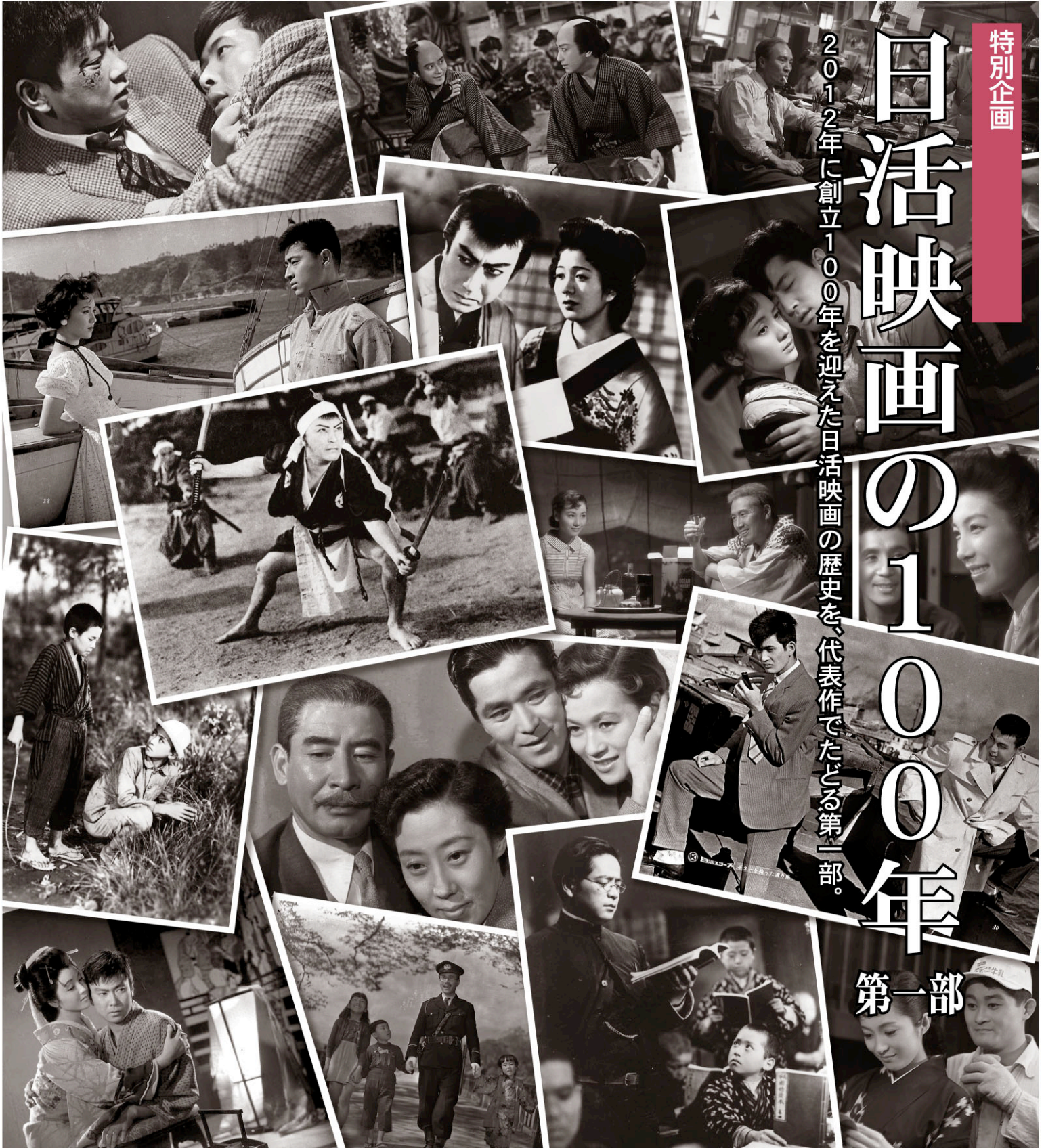
July.2013

特別企画

日活映画の100年

2012年に創立100年を迎えた日活映画の歴史を、代表作でたどる第二部。

第一部



日活映画の100年〈第一部〉

2012年に創立100年を迎えた日活映画の歴史を、代表作でたどる第一部。

会 期：7月3日(水)～28日(日)※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円(手帳の提示が必要です。)

主催：日活株式会社／福岡市総合図書館／映像ホール・シネラ実行委員会

写真は全て©日活

19^[金]
11:00
21^[日]
11:00
27^[土]
17:00



「のんべ安兵衛」と呼ばれる中山安兵衛は、喧嘩三味の無頼の生活をしていた。安兵衛のたった一人の肉親である伯父菅野は、御前試合で負かした相手に恨まれ、真剣で果し合いをすることになる。酒場で飲みつぶれて朝帰りをした安兵衛は、それを知り脱兎のごとく果し合いの場所に急ぐ。

時代劇の大スター阪東妻三郎の代表作の一本。古さを感じさせない時代劇の古典ともいえる作品。

18^[木]
14:00
20^[土]
17:00
28^[日]
14:00



愛川吾一は成績が良く、中学に進学したいと思っていたが、家庭の事情でできなかった。呉服屋で丁稚奉公を始める吾一は五助と名前を変えられ、同級生を坊ちゃんと呼ばされる。しかし体が丈夫でなかった母親は病気になる。山本有三の小説の映画化作品。吾一を演じた片山明彦は島耕二監督の息子で、天才子役と注目を集めた。巨匠田坂具隆監督がその作風を完成させた作品としても重要である。※作品が古いいためプリント状態が良くありません。

18^[木]
11:00
24^[水]
14:00
27^[土]
11:00



鼠小僧次郎吉は目明し傳七の追っ手を逃れて京に向かう。遠山金四郎は家を継ぐことを嫌い、家出をして京に向かう。偶然出会った二人は弥次郎兵衛と喜多八と名乗り、一緒に旅を続けていく。ディック・ミネなどの歌が随所に挿入されたオペレッタ時代劇で、映画の中に歌を取り入れたものとしては最も古い作品。次郎吉と金四郎がお互いの正体がばれない様に旅をする様子はサスペンスとコメディが絶妙にミックスされている。※作品が古いいためプリント状態が良くありません。

決闘 高田の馬場

監督：マキノ正博
稲垣浩
出演：阪東妻三郎
香川良介

1937年／35ミリ／モノクロ／50分／日活

路傍の石

監督：田坂具隆
出演：片山明彦
山本禮三郎

1938年／16ミリ／モノクロ／119分／日活

弥次喜多道中記

監督：マキノ正博
出演：片岡千恵蔵
杉狂児

1938年／35ミリ／モノクロ／97分／日活

17^[水]
14:00
20^[土]
11:00
24^[水]
11:00



用心棒稼業の平手造酒はある日ヤクザの出入りがかつて同門だった只木厳流と再会する。そして平手は偶然意気投合した多聞重兵衛と三人で、笹川の用心棒となる。三人はいつか一緒に道場を開くことを夢見ていた。当時、若干25歳の丸根賛太郎監督のデビュー作。丸根の脚本を片岡千恵蔵が気に入ったことで映画化されたが、躍動感溢れる演出により、丸根は山中貞雄の再来と大評判になった。

※作品が古いいためプリント状態が良くありません。

17^[水]
11:00
25^[水]
11:00
28^[日]
11:00



東北の小学校に転校生・高田三郎がやって来る。子供たちは、三郎は「風の又三郎」に違いないと噂をする。ある日嘉助は三郎たちと山に遊びに行き、迷ってしまう。風が吹き、雨が降り始めるが、嘉助はガラスのマントを着て歌う三郎を見るのだった。宮澤賢治の小説を映画化したファンタジー溢れる作品。少年たちの演技も素晴らしく、原作の詩情が良く表現されている。戦前の児童映画の傑作。

※作品が古いいためプリント状態が良くありません。

15^[月初]
11:00
20^[土]
14:00
25^[木]
14:00



国鉄の秋山総裁が列車に轢かれて死亡する。毎朝新聞の速水はデスクとして取材を命じられる。各紙とも他殺説が主流を占めるが、綿密な取材の結果速水は自殺説を取る。紙面的に孤立する毎朝新聞は社内でも問題となるが、速水は態度を変えない。1949年国鉄の下山総裁が死亡した「下山事件」を元にした井上靖の小説の映画化。俳優として有名な山村聰の監督としての代表作。

※作品が古いいためプリント状態が良くありません。

春秋一刀流

監督：丸根賛太郎
出演：片岡千恵蔵
沢村国太郎

1939年／16ミリ／モノクロ／74分／日活

風の又三郎

監督：島耕二
出演：片山明彦
風見章子

1940年／35ミリ／モノクロ／96分／日活＝劇団東童

黒い潮

監督：山村聰
出演：山村聰
東野英治郎

1954年／16ミリ／モノクロ／113分／日活

13^[土]
14:00
19^[金]
14:00
27^[土]
14:00



警察日記

監督：久松静児
出演：森繁久彌
三国連太郎



1955年／35ミリ／モノクロ／110分／日活

会津磐梯山が見える小さな町の警察署。森繁久彌演じる吉井巡査は列車の中に置き去りにされた6歳の女の子と赤ん坊の姉弟、そして身売りされる女性・アヤを保護する。子供を警察署に置いておけないため、吉井巡査は自分の家で保護する。一方はアヤは三国連太郎演じる若い花田警官が、アヤの家まで送っていく。町では地元出身の通産大臣が帰省するため大騒ぎになっていた。小さな町の警察署に起きる様々な出来事

をスケッチのように描いた人情ドラマの傑作。苦しい農民たちの生活実態が織り込まれ、個性豊かな警官たちの奮闘する姿がコミカルに描かれている。森繁久彌は同年「夫婦善哉」にも主演しており、演技力の高さは絶賛された。また捨てられた6歳の女の子を演じた二木てるみの素朴な演技は感涙ものであり、監督の演出力の証明でもある。戦後1954年に映画製作を再開した日活の最初のヒット作品であり、日活にとってエポックな作品である。

7 [日] 14:00
13 [土] 17:00
26 [金] 11:00



新木厚生大臣は日本の人口爆発を抑制するため、受胎調節を行う法案を提出する。ところが48歳の妻の妊娠が発覚、長男が交際する新木の秘書冴子も妊娠、婚約中の二女さくらも妊娠と、家庭の中は大混乱に陥る。三橋達也が松竹から日活に移籍した最初の作品で、映画の中では3役を演じる奮闘ぶりを見せる。出産を巡る家族のドタバタ騒ぎが楽しく展開するファミリードラマ。

愛のお荷物

監督：川島雄三
出演：山村聡
三橋達也

1955年/35ミリ/モノクロ/110分/日活

5 [金] 14:00
11 [木] 11:00
14 [日] 11:00



明治39年、佐渡島他吉はフィリピンで道路工事をして大阪の天王寺に帰ってくる。他吉と情を交わしたお鶴は初枝という子供を産み、まもなく死亡する。以後他吉は車引きをしながら初枝を育てる。他吉の明治から昭和にいたる半生を描いた作品で、当時の大阪の雰囲気を見事に再現している。川島監督の演出もテンポ良く、長い物語を簡潔にまとめている。

わが町

監督：川島雄三
出演：辰巳柳太郎
南田洋子

1956年/DVD/モノクロ/98分/日活

3 [水] 11:00
6 [土] 14:00
12 [金] 11:00



運送会社の社長勝又は裏ではヤクザな仕事をしていた。狩田検事は勝又の悪事の証拠がつかめなかったが、ある日5年前の市議の自殺は勝又による殺人という密告の手紙が来る。石原慎太郎の小説を、原作者と監督が脚本化した作品。すでに大スターとなった石原裕次郎が、この後スターとなる小林旭と初めて本格的な共演をした映画で、後に一世を風靡する日活アクションの古典的作品。

錆びたナイフ

監督：舛田利雄
出演：石原裕次郎
小林旭

1958年/35ミリ/モノクロ/90分/日活

15 [月祝] 14:00
21 [日] 14:00
26 [金] 14:00



学生の日置は偶然野淵と出会う。日置は学識が高い野淵を尊敬し、家にも通うようになるが、次第に野淵が孤独であることに気付く。しかし野淵はなかなか日置に心を開いてはくれない。夏目漱石の有名な小説の映画化。市川監督が初めて名作文学の映画化に挑んだ作品だが、正攻法の演出の中にも市川監督らしい才気あふれる画面作りが見られる秀作。

こころ

監督：市川崑
出演：森雅之
新珠三千代

1955年/16ミリ/モノクロ/122分/日活

5 [金] 11:00
10 [水] 11:00
13 [土] 11:00



堺六平太は、東京の杉牛乳店の経営立て直しのために山口からやって来る。杉牛乳店は商売仇のブルドッグ牛乳店に客を奪われ、借金まであった。六平太はサービス第一をモットーに奮闘し、少しずつ客を増やしていく。原作は森永乳業提供の放送劇だが、それを人情コメディ的な作品に作り替えている。「太陽の季節」をはじめ様々なパロディがふんだんに盛り込まれており、中平監督の才気溢れる作品。

牛乳屋フランキー

監督：中平康
出演：フランキー堺
坪内美詠子

1956年/35ミリ/モノクロ/84分/日活

4 [木] 14:00
7 [日] 11:00
11 [木] 14:00



山村一座は大阪のテント芝居劇団。大学を出た国田は新しい芝居の創作を目指して入団する。河内の村にやって来た一座は、村人から大歓迎される。しかし国田は座長に自分の考えを受け入れてもらえず悩む。今村昌平監督のデビュー作。芝居一座の猥雑なバイタリティーがコミカルに描かれ、長門裕之がナイーブな演劇青年を好演する。今村監督が新人とは思えない力量を見せつけている。

盗まれた欲情

監督：今村昌平
出演：長門裕之
南田洋子

1958年/35ミリ/モノクロ/92分/日活

6 [土] 11:00
9 [火] 11:00
12 [金] 14:00



高校生の津川竜哉は銀座で英子をナンパする。二人は交際を始め肉関係を持つが、英子が突然別れを切り出すなど、それはドライな関係だった。しかしある日英子は竜哉に愛情を感じ、竜哉の愛を求めるようになる。しかしそれは竜哉にとって疎ましいものだった。石原慎太郎が芥川賞を受賞した小説の映画化で、「太陽族ブーム」の原点となった作品。また本作は石原裕次郎の映画デビュー作であり、端役にしか過ぎない裕次郎だが、その存在感は圧倒的である。

太陽の季節

監督：古川卓巳
出演：長門裕之
南田洋子

1956年/35ミリ/モノクロ/89分/日活

3 [水] 14:00
9 [火] 14:00
14 [日] 14:00



明治維新が迫った頃、佐平次は品川の遊郭で贅沢三味をするが、実は一銭も持っておらず、結局働いて返済することになる。佐平次は按摩から時計の修理まで何でも器用にごなし、遊女たちに重宝がられるようになる。落語の「居残り佐平次」などを骨格としたオリジナル作品。フランキー堺の見事な演技、川島監督のテンポ良い演出により、本作は日本映画最高のコメディ映画と評される。日活創立100周年記念として、国立近代美術館フィルムセンターとの共同事業でデジタル修復された。

幕末太陽傳

デジタル修復版

監督：川島雄三
出演：フランキー堺
石原裕次郎

1957年/35ミリ/モノクロ/110分/日活

4 [木] 11:00
6 [土] 17:00
10 [水] 14:00



流れ者の滝伸次が函館にやって来る。バーのオーナー秋津に雇われた滝は借金の取り立てなどを行う。ある日神戸からジョージというヤクザがやって来て、秋津に麻薬取引の協力を頼む。小林旭主演の「渡り鳥シリーズ」の最初の作品で、日活無国籍アクションというジャンルを誕生させた記念碑的作品。

ギターを持った渡り鳥

監督：斎藤武市
出演：小林旭
浅丘ルリ子

1959年/35ミリ/カラー/78分/日活



1月 休館日
2火 休館日

3水	11:00 錆びたナイフ	14:00 幕末太陽傳 <デジタル修復版>	
4木	11:00 ギターを持った渡り鳥	14:00 盗まれた欲情	
5金	11:00 牛乳屋フランキー	14:00 わが町	
6土	11:00 太陽の季節	14:00 錆びたナイフ	17:00 ギターを持った渡り鳥
7日	11:00 盗まれた欲情	14:00 愛のお荷物	
8月	休館日		
9火	11:00 太陽の季節	14:00 幕末太陽傳 <デジタル修復版>	
10水	11:00 牛乳屋フランキー	14:00 ギターを持った渡り鳥	
11木	11:00 わが町	14:00 盗まれた欲情	
12金	11:00 錆びたナイフ	14:00 太陽の季節	
13土	11:00 牛乳屋フランキー	14:00 警察日記	17:00 愛のお荷物
14日	11:00 わが町	14:00 幕末太陽傳 <デジタル修復版>	
15月祝	11:00 黒い潮	14:00 こころ	
16火	休館日		
17水	11:00 風の又三郎	14:00 春秋一刀流	
18木	11:00 弥次喜多道中記	14:00 路傍の石	
19金	11:00 決闘 高田の馬場	14:00 警察日記	
20土	11:00 春秋一刀流	14:00 黒い潮	17:00 路傍の石
21日	11:00 決闘 高田の馬場	14:00 こころ	
22月	休館日		
23火	休館日		
24水	11:00 春秋一刀流	14:00 弥次喜多道中記	
25木	11:00 風の又三郎	14:00 黒い潮	
26金	11:00 愛のお荷物	14:00 こころ	
27土	11:00 弥次喜多道中記	14:00 警察日記	17:00 決闘 高田の馬場
28日	11:00 風の又三郎	14:00 路傍の石	
29月	休館日		
30火	休映日		
31水	休館日		

日活映画100年

日活株式会社の社名は、1912年に横田商会、吉沢商店、福宝堂、エム・パテー商会4社が合併して設立した、日本活動写真株式会社の略称に由来する。日本最初の大手映画会社として、尾上松之助、大河内傳次郎、阪東妻三郎など日本を代表するスターたちによる数多くの名作を製作する。1942年には戦時企業統合により、映画製作部門は大映(大日本映画製作株式会社)に統合され、一時的に配給部門だけになる。

戦後も映画配給業務を続ける日活は、1954年に映画製作を再開。松竹や東宝などの会社からスタッフや俳優を引き抜き、文芸映画等を製作する。五社協定等により、当初興行的に苦しかった日活は新人俳優などを積極的に登用、これが功を奏し、長門裕之、石原裕次郎、小林旭、浅丘ルリ子などのスターを生み出す。特に日活のアクション映画は大評判となり、吉永小百合による「青春映画路線」と併せて映画会社の中でトップクラスの興行収入を上げるようになる。

60年代以降斜陽化する映画産業の中で69年には撮影所を売却、71年の「八月の濡れた砂」を最後にしばらく映画製作を中断する。そして同年「日活ロマンポルノ」と名づけた成人映画路線に転換する。78年には社名を「株式会社につかつ」に変更。成人映画からは相米慎二や森田芳光等その後活躍する優秀な監督を多

数輩出するが、ビデオの普及により次第に興行成績が上がらなくなる。92年創立80周年記念として製作された大作「落陽」が失敗し、93年倒産する。しかしナムコの経営支援により97年再び日活株式会社として映画製作を始める。復活第一作は熊井啓監督の「愛する」。

日活は三度の映画製作中断を乗り越え、2012年創立100周年を迎えた。その中で製作された作品群は日本映画の歴史そのものであり、今も多くの観客に愛されている。今回の特集で紹介する作品は100年の歴史の中ではほんのわずかなものだが、その作品の多様な素晴らしさと、歴史の長さを実感していただけたらと思う。



「決闘 高田の馬場」の日活社名ロゴ



「錆びたナイフ」の日活社名ロゴ



「愛する」の日活社名ロゴ

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表): 092(852)0600
Fax: 092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

第33回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日時: 2013年7月29日(月) 12:00~13:00 ※入場無料
場所: 西日本シティ銀行本店 1F エントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲目: シューベルト作曲 弦楽五重奏曲ハ長調 D.956 Op.163 他
演奏者: 福岡ハイドン弦楽四重奏団
主催: 公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)

